



大会のマスコットキャラクター
エール君

今年10月、豊平地区にある北海道立総合体育センター「きたえーる」で、障害のある方々が世界中から集まる「第6回DPI世界会議札幌大会」が開催されます。

今月は、「なくそうバリア ふやそう心のバリアフリー」をスローガンに、「すべての人々が等しく価値ある存在であり、すべての人々が尊重される社会の実現」を目指すこの大会と、地域とのかかわりについて取り上げてみました。

DPIって何？

DPIとは、Disabled Peoples' Internationalの略で、日本では「障害者インターナショナル」といいます。障害があるすべての人の、あらゆる生活の場における完全参加を実現させるため、1981年に、世界53カ国の障害者によって結成された組織です。現在の加盟国は120カ国以上で、世界最大の障害者NGO（非政府組織）となっています。



豊平区民の皆様へ

2002年第6回DPI世界会議札幌大会
組織委員会 会長 神田 直也

DPI札幌大会もいよいよ間近となりました。事務局では、大会の成功に向けて、鋭意準備を進めております。豊平区民の皆様には、これまでさまざまなご支援を賜り、また大会期間中にも実演を通じた日本文化の紹介などご協力いただくことになっており、心より感謝申し上げます。区民の皆様におかれましては、世界から訪れる障害のある仲間たちと、大いに交流を深めていただきたいと思います。

DPI世界会議札幌大会について

4年に1回開催されるDPI世界会議。6回目となる札幌大会には、世界100カ国以上から障害者や関係者など約2,000人が参加し、4日間にわたって意見交換が繰り広げられます。大会のテーマは「**すべての障壁を取り除き、違いと権利を祝おう！**」。

物理的・心理的バリア（障壁）を取り除くため、自立生活、人権、生命倫理など、さまざまな分野で討議が行われます。また、開催国におけるバリアフリー^{※1}やユニバーサルデザイン^{※2}の意識を高めることも、大会の目的の一つとなっています。

※1 バリアフリー

物理的・制度的・心理的・文化・情報など、さまざまな分野の障壁を取り除こうという考え方。

※2 ユニバーサルデザイン

すべての人にとって、できる限り利用可能であるようにしたデザイン。

成功させよう！

10月15日（火）～18日（金）
北海道立総合体育センター
“きたえーる（豊平5条11丁目）”
地下鉄東豊線「豊平公園駅」下車徒歩2分



世界会議札幌大会